



**2020年3月期
決算説明資料**

CYBERDYNE株式会社

2020年5月15日

連結業績

1) 短期的な売上への影響

- 新規の商談・契約・出荷の一時的な遅延（特に医療機関向け）
- 既存のサービス事業の一時的な休止（特にロボケア）

2) 不況への抵抗力

- 安定的な収入構造：レンタル・保守中心のストックビジネス（売上の7割超）
- 健全な財務体質：十分な手元資金（286億円）＋自己資本比率（92.6%）

3) 当社のサイバニクス技術で貢献 → 新たなビジネス機会

- 「サイバニクス産業」が一層加速する契機：『人』＋『サイバー・フィジカル空間』の融合
- コロナ後の社会構造の変化：「遠隔」「在宅」「デジタル」← 当社の軸

連結業績 - 前期比較

連結売上 : 1,792百万円 (4.8%増加)
税引前利益 : 91百万円 (黒字)
当期利益 : ▲152百万円 (480百万円改善)

(百万円)

	FY2018 通期	FY2019 通期	増減額	増減率
売上収益 (売上総利益)	1,709 (1,227)	1,792 (1,300)	+83 (+73)	+4.8% (+5.9%)
営業利益	-830	-1,039	-209	—
税引前利益	-569	91	+660	—
当期利益 (親会社帰属)	-632	-152	+480	—

医療用HALのレンタル売上 +87M
粗利率 72.5% (0.7pt向上)

その他収益 △267M
(補助金・受託研究収入等)

投資有価証券関連益 800M

(内訳)

評価益 +853M (金融収益)

受取配当 +304M (金融収益)

売却損 △97M (金融費用)

税効果 △260M (法人所得税)

当期包括利益：46M (投資有価証券評価差益191M(=評価差額+275M - 税効果84M)などを純損益(PL)外の「その他包括利益」認識)

連結業績 - 四半期推移



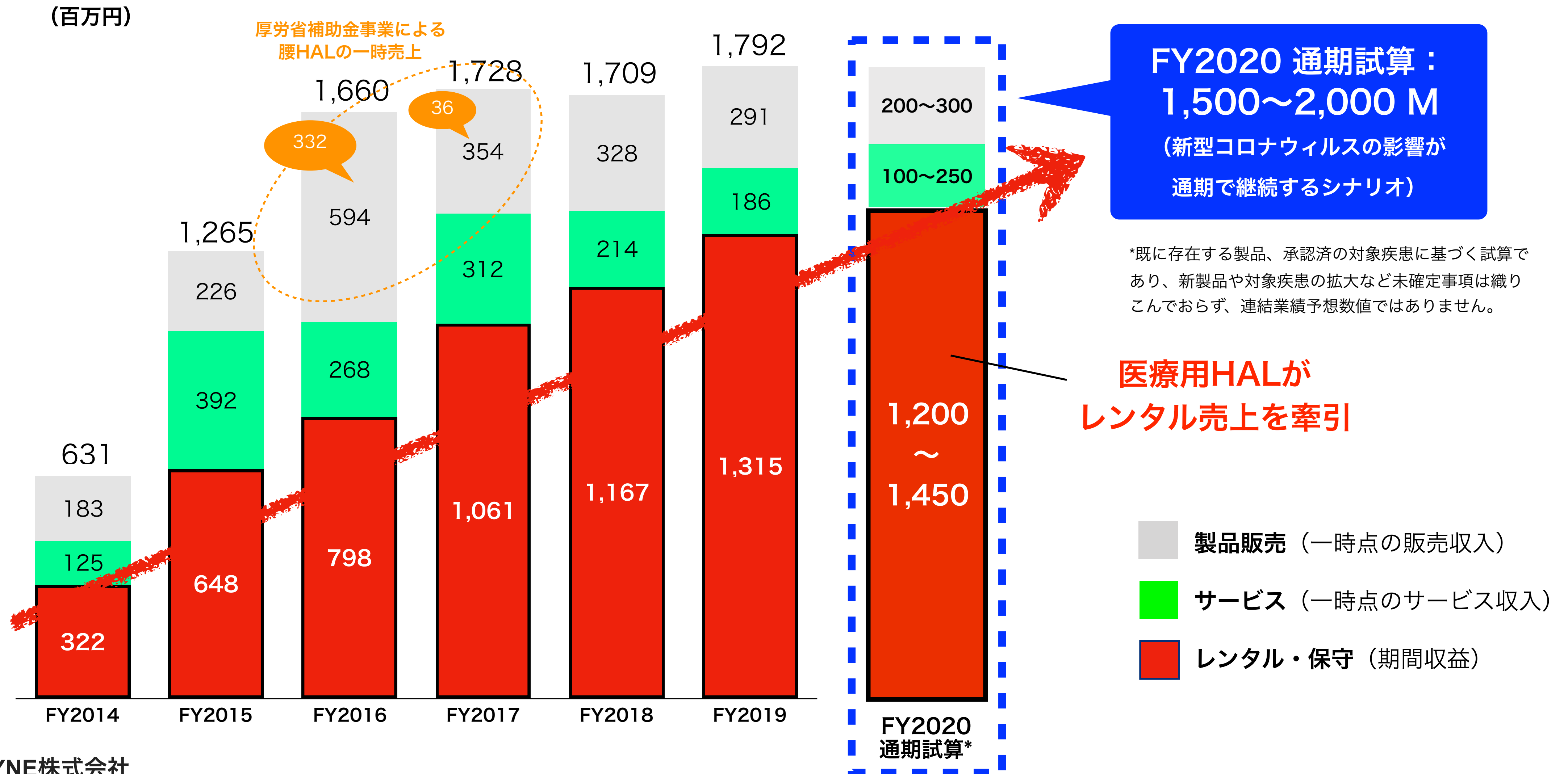
【2020年3月期 期末決算：連結損益計算書】

(百万円)

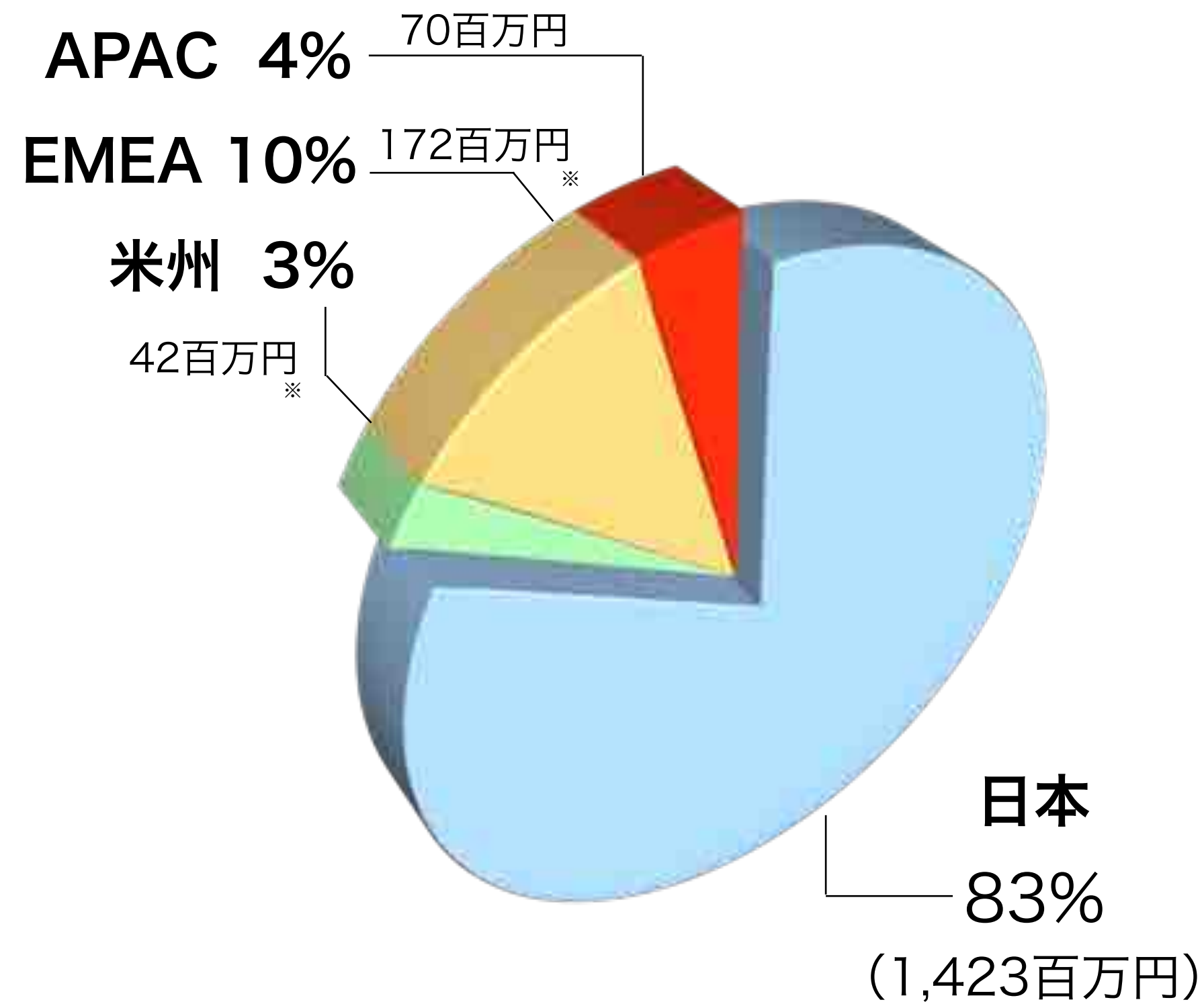
	FY2018	FY2019				増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	
	【通期】	Q1	Q2	Q3	Q4			【通期】
売上収益	1,709	393	430	442	526	1,792	+83	+4.8%
売上原価	481	108	122	115	148	492	+11	+2.2%
売上総利益	1,227	286	308	327	379	1,300	+73	+5.9%
研究開発費	998	162	210	191	249	812	-186	-18.7%
その他販管費	1,454	307	323	329	687	1,646	+193	+13.2%
その他収益/費用	395	10	18	34	59	120	-275	-69.5%
営業利益	-830	-173	-208	-159	-499	-1,039	-209	—
金融収益/費用	224	444	-75	357	357	1,084	+860	+383%
その他	37	8	10	14	14	46	+9	+22.9%
税引前利益	-569	279	-273	212	-127	91	+660	—
当期利益 (親会社帰属)	-632	156	-268	99	-140	-152	+480	—

Q4に「その他販管費」に租税公課として357Mを一括計上（外形標準課税(資本割)および固定資産税 * IFRSの賦課基準による）

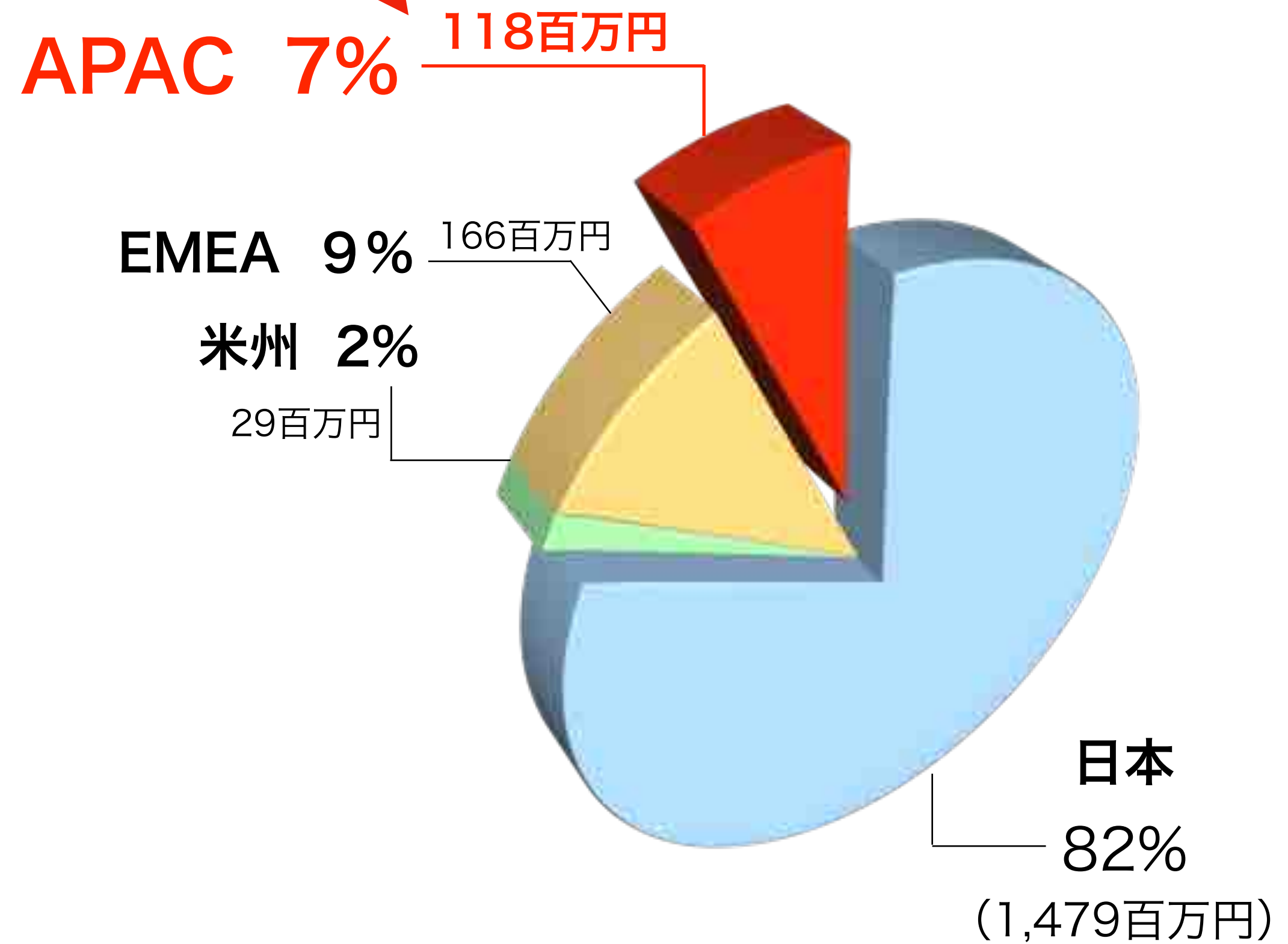
当社の主ビジネス『レンタル・保守』売上は順調に増加



**APAC (特に東南アジア)
69%増加**



※ 前年度に一時的な研究用試作機の販売等



米州 : 北米及び中南米
 EMEA : Europe, the Middle East and Africa (欧州、中東及びアフリカ)
 APAC : Asia-Pacific (アジア太平洋) ※日本を除く

事業戦略

産業変革・社会変革を実現する世界戦略

世界からイノベーションのシーズが日本に集中するイノベーションのスパイラルアップ

好循環実現に向けて！

社会実装展開へ！

人と技術のテクノ・ピアサポート
Medical/Health Care

イノベーションのスパイラルアップ

- ・ 国内外の企業、大学、研究機関などとの連携
- ・ 行政との連携
 - ・ 近未来技術等社会実装事業
 - ・ 国交省スマートシティ事業など
- ・ さらなる取り組み
 - ・ WEF第4次産業革命センター
 - ・ 先端医療コンソーシアムなど

国内、世界に様々な革新的医療機器を展開し、研究開発と新産業創出を一体的に展開

世界から！
シーズ集約

革新機器研究開発・国際認証・治験・社会実装
から人材育成までの一体化推進

サイバニクス産業創出

CEJ事業・C-Startup
スタートアップ支援・事業連携

- ・ 国内、世界中から、
シーズと人材も集約
- ・ 連携受け入れ推進

国際認証取得支援
ISO13482,13485取得

ロボケアセンター
グループ

Neuro
HALFIT

CYBERNICS DIGITAL INDUSTRY = 『人』 + 『サイバー空間』 + 『フィジカル空間』 の融合

G20 デジタル経済・貿易大臣 @CYBERDYNE
ロボット産業、IT産業につづく新産業「サイバニクス産業」の推進



参加各国の大臣等、代表団がサイバーダイブ本社を視察（2019年6月8日・9日の両日）

サイバニクス産業始動

『人』 + 『サイバー・フィジカル空間』の融合

医療

福祉

サイバニクス治療

バイタルセンシング

自立支援

介護支援

見守り支援

作業支援

移動支援

職場

統合サイバニックシステム

生活

搬送

生産

清掃・除菌

IoH/IoT化 サイバニックデバイス群からのデータ集積が始まる
統合サイバニックシステムが構築されていく

サイバニクスEXPO @東京国際フォーラム (2019/12/16)

「サイバニクス産業」 始動をテーマに初開催



最先端の新製品披露

都内で博覧会

ロボットスーツ「HAL」を製造販売するサイバーダイニング（つくば市、山海堂社長）などは16日、人とロボット、情報を融合した「サイバニクス技術の産業化に向けた「サイバニクスEXPO（エキスポ）」を東京都内で開催した。先端技術を



収穫、排泄…支援ロボ続々開発

サイバーダイニング 都内でロボ技術博



C - Startup

C-Startup

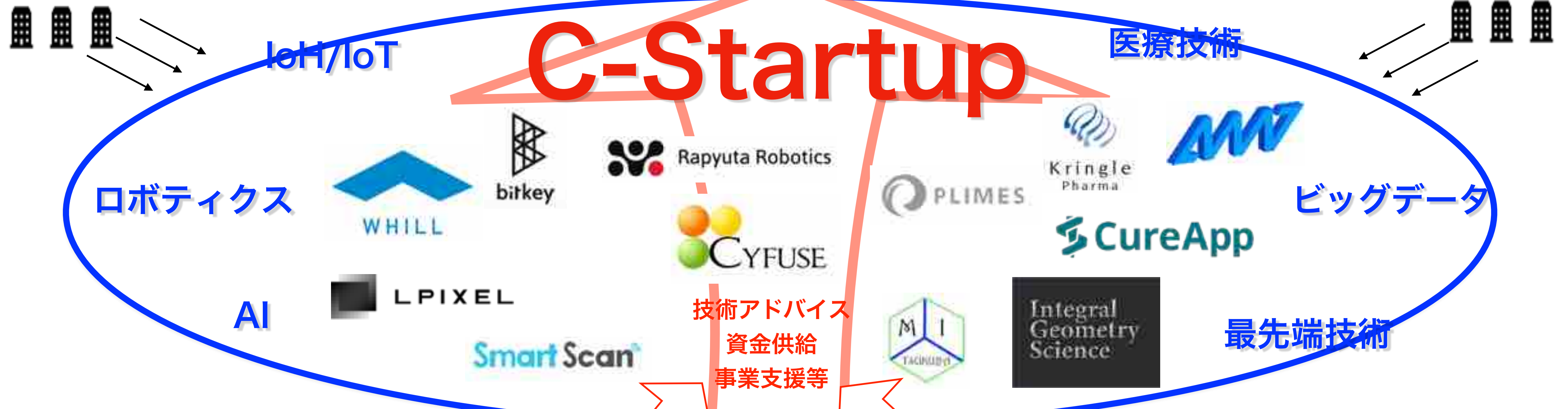
サイバニクス産業創出のイノベーション・エコシステム



サイバニクス産業

国内外
大学・研究機関

スタートアップ・
アントレプレナー



CYBERDYNE



取引先



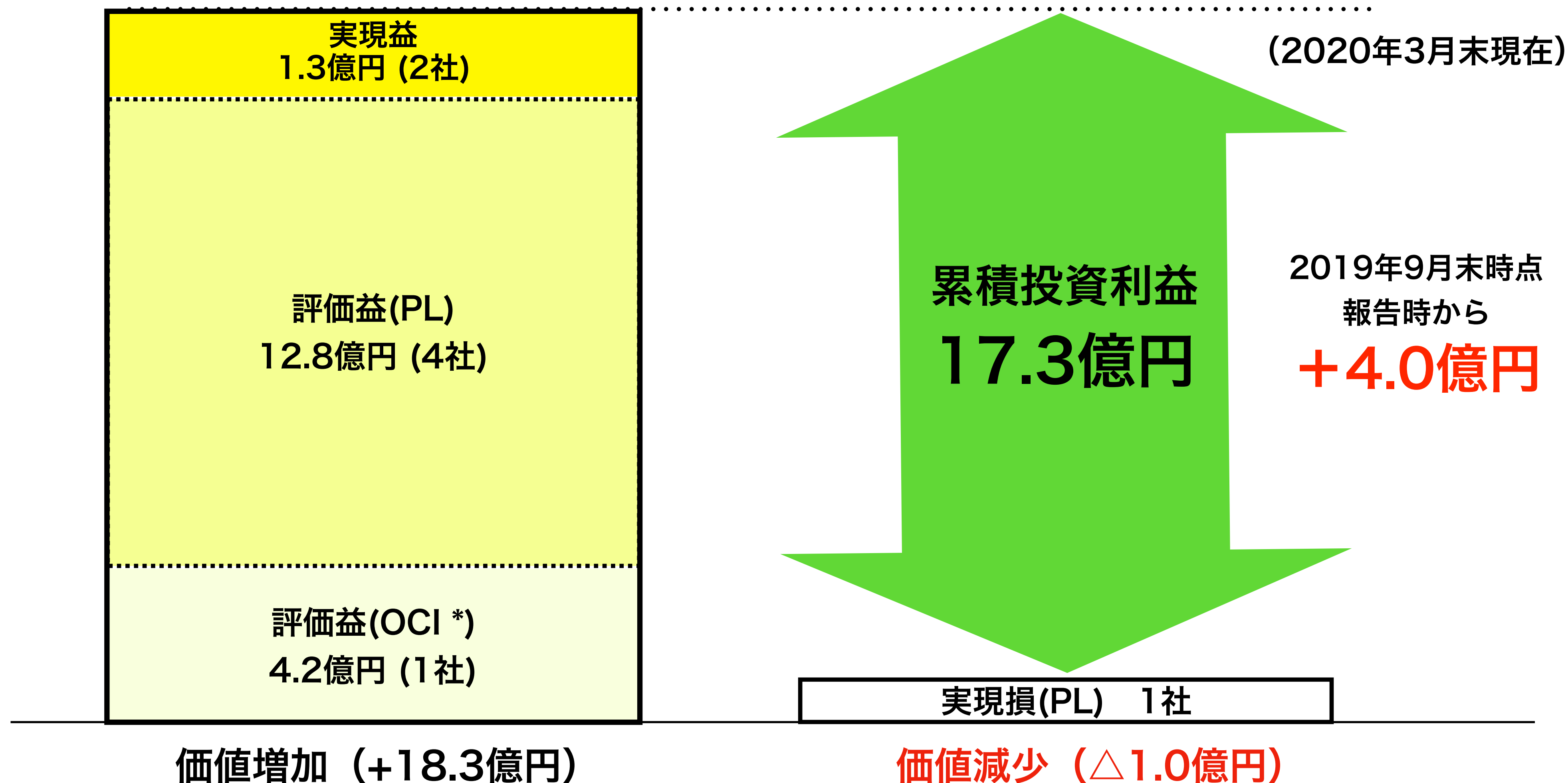
連携組織
(産・官・学)

CEJファンド(100億円規模)



(参考) 「C-Startup」 への事業投資

事業連携を目的とした「C-Startup」への戦略的出資の成果



* OCI：純損益(PL)で計上されない利益（その他の包括利益）

(参考) 現時点で評価差額が発生していない投資先：CYBERDYNE本体投資 7社、CEJファンド投資 6社